

タイトル	(和文) DX化がもたらす貿易・国際物流におけるロスプリベンションへの影響		
	(英文) The Impact of DX on Loss-Prevention in Trade and International Logistics		
(フリガナ) 氏名	ヒグチ ヨウヘイ 樋口 洋平		
キーワード (3語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貿易 DX</li> <li>・ ロスプリベンション</li> <li>・ グローバル・バリューチェーン</li> </ul>	ご所属	日発運輸株式会社 AEO 総括管理部
(和文要旨 40字×5行 200字以内)			
<p>筆者はこれまでの研究の中で、貿易・国際物流分野におけるロスプリベンションの重要性を訴え、具体的な提言等を行ってきたが、ロスプリベンションの機能の有効性を高める為の手段として、デジタル化・DX化などの活用については特段触れてこなかった。DX化が急速に進む現在、DX化がロスプリベンションに与える影響を検証する事により、ロスプリベンションの更なる可能性を探るものである。</p>			
(和文報告概要 40字×40行 1,600字以内)			
<b>1. 研究の目的</b>			
<p>様々な産業において、IT化やデジタル化などの進展と普及は目覚ましく、近年特にDX化は企業において急速に広がりを見せつつある。貿易・国際物流分野もその例外ではなく、整備が進んでいる。これまでも貿易・国際物流分野では幾度となくデジタル化の試みがなされてきたが、最近ではDX化の本格的な実現に向け動き出している。ブロックチェーン技術を用いた統一されたプラットフォームを整備し、貿易・国際物流分野におけるステークホルダー間で情報共有を図り、業務の簡素化・効率性の向上を目指し、ビジネスモデルそのものの変革を進めようというものである。</p>			
<p>筆者は、貿易・国際物流分野における人的ロスプリベンションを中心とした研究を行っているが、ロスプリベンション実施の為の一手段として、これまで AEO 制度等の有効活用の提言を行ってきた。先述の通り、DX化は業務の効率化を目指すものであるが、これまでの研究においては、デジタル化やDX化の導入を考慮した検証は特段実施していない。そこで、DX等の仕組みを取り入れた場合、ロスプリベンションの機能強化に有効なのかどうか、また、DX化前後でどのような変化が生じるのかを探る事とした。更に、DXに注目した大きな理由の一つとして、ステークホルダーの結びつきがある。筆者の研究においては、ロスプリベンション実施のキーとして、自社だけでなく、それ以外の第三者管理をいかに行うかが重要なファクターであるかが分かってきている。そこで、今回ステークホルダーに横串を刺すDXの仕組みに注目してみたいと考えた。</p>			

## 2. 研究内容

本研究においては、筆者がこれまで研究を行ってきた貿易・国際物流の工程におけるロスプリベクションの対応を基軸に、DXを導入した場合の構造変化についての検証を試みる事とする。一般的に、DXの導入が謳っているのは、業務の効率化であるが、Fコストがどれ位減少するか等の試算については触れてはいない。筆者自身の考え方に、業務の効率化が実現した成果として、人件費等のオペレーションコストなど把握し易いコストだけではなく、Fコスト等目に見えないコストがどれ位減少するのかを明確にしておく必要があると感じている。効率化を図るという事は、その事によりロスプリベクションの効果がどれ位見込めるのかをも検証する必要があると考えている。貿易DXの効果として、「リスク管理」、「コンプライアンス強化」等についても謳われているが、具体的に、どの様な部分でロスプリベクションの効果が見込めるのか明確に示されている事は少ないように思われる。この部分をはっきりさせる事は、企業がDX導入の検討する為の判断材料の一つになるのではないか。その為に、本研究では、国際物流分野を中心とし、Fコストを含む収支変化について効果検証を行い、そこで抽出された課題や障壁等についても検証し、明らかにする事により、DX導入における更なる有効活用について、実務家の立場から提言したい。

## 3. 先行研究

貿易・国際物流分野におけるデジタル化などの研究は多くなされているが、DX化とロスプリベクションの具体的な効果や関係性について言及した研究は調査した限り無かった。本邦におけるDX化は海外の先進国と比べ遅れを取っており、近年ようやく稼働が開始され始めたが、その効果も実証実験レベルに留まっており、実業務に基づく本格的な検証結果が出揃うには、まだしばらく時間を要するものと思われる。従って、本研究においては独自の見解と検証を実施したい。